

《被表彰者の概要》[6件：図書館1件，学校4件，団体（個人）1件]

〈図書館・公民館図書室〉

被表彰者名	指宿市立山川図書館
功績内容	<p>1 概要</p> <p>(1) 職員数6人（うち司書4人），図書館協議会を年3回開催</p> <p>(2) 令和2年度図書購入における児童図書購入の割合38.5% (24,356冊)</p> <p>2 特色ある取組</p> <p>(1) 自分が借りた本の貸出日，図書名，著者名が記載された「読書通帳」を発行し，読書の幅を広げた貸出数増加に貢献している。</p> <p>(2) 「司書まなびの会」や「司書教諭及び学校図書館事務職員等合同研修会」に参加し，学校との連携，情報交換及び司書力の向上に努めている。</p> <p>(3) 子ども司書事業支援や調べ学習支援，学校での読書推進に関する研修への講師派遣など，小・中・高等学校へ多岐にわたる支援を実施している。</p> <p>(4) お話会や読み聞かせを年間24回実施している。</p> <p>(5) 認定司書2人（館長，副館長）と様々な機関との連携した読書推進活動をしている。</p>

〈学 校〉

被表彰者名	鹿児島市立宮小学校
功績内容	<p>1 概要</p> <p>(1) 児童数90人 8学級 職員数16人</p> <p>(2) 学校図書館の蔵書数6,132冊</p> <p>2 特色ある取組</p> <p>(1) 平均読書冊数が294冊と大変多い。</p> <p>(2) 「個人別読書カルテ」を作成し，個人の貸出冊数を分類別にグラフ化して示し，個人の目標冊数などを決めさせ，幅広い分野の本に親しめるように工夫している。</p> <p>(3) 「SDGsブックリストチャレンジ」17個のゴールに合わせた本を選書し，目標達成に向けた取組を行っている。</p> <p>(4) 『「心のつぼ」ブックリスト』生命尊重につながる本を学年別に選書し，完読した人の人数が分かる仕掛けにより，多くの児童に読んでもらえるように工夫している。</p>

〈学 校〉

被表彰者名	鹿屋市立東原小学校
功績内容	<p>1 概要</p> <p>(1) 児童数110人 8学級 職員数17人</p> <p>(2) 学校図書館の蔵書数6,411冊</p> <p>2 特色ある取組</p> <p>(1) 地域・家庭と一体となった読書活動に取り組んでいる。</p> <p>(2) 平日に於ける学校図書館の地域開放を行っている。</p> <p>(3) 東原町内会「読書のまち東原」宣言や、「親と子の20分間読書」推薦モデルPTAとして宣言し、読書活動推進に取り組んでいる。</p> <p>(4) 読書を中心においた学校経営と読書活動の啓発活動を継続的にやっている。</p>

〈学 校〉

被表彰者名	霧島市立牧園中学校
功績内容	<p>1 概要</p> <p>(1) 児童数113人 5学級 職員数 12人</p> <p>(2) 学校図書館の蔵書数7,608冊</p> <p>2 特色ある取組</p> <p>(1) 牧園図書室主催の行事へ積極的に参加している。</p> <p>(2) 「一斉読書の日」で、月に一度管理職を含め、全ての職員が読み聞かせを行う場を設定している。</p> <p>(3) 週替わりでクラスごとに「新聞朝読書の日」を設け、新聞記事を全員で読む場を設定している。</p> <p>(4) 教育課程と連動した図書の展示に努めている（司書補との連携）。</p> <p>(5) 「アウトメディアデー」による親子読書の啓発を行っている。</p>

〈学 校〉

被表彰者名	県立福山高等学校
功績内容	<p>1 概要</p> <p>(1) 生徒数119人 6学級 職員数31人</p> <p>(2) 学校図書館の蔵書数12,673冊 年間利用平均冊数25.6冊</p> <p>2 特色ある取組</p> <p>(1) 活動目標のもと、生徒主体の図書館運営を行っている。</p> <p>(2) 読書センター、学習・情報センターとしての機能の充実を運営の柱に据え、具体的な取組を行っている。</p> <p>(3) 図書委員による、「ビブリオバトル」、「ミニビブリオバトル」の定例化を図り、様々な工夫を行っている。</p> <p>(4) 各教科の授業実践に寄与するため、公共図書館との連携に努めている。</p> <p>(5) 趣向を凝らした図書館だよりの発行やテーマ（本屋大賞や他県の司書のお薦め本、本県ビブリオバトルのチャンプ本等）展示により、来館者の増加に向けて工夫した取組を行っている。</p>

〈団体（個人）〉

被表彰者名	ストーリーテリングの会 おはなしの森（鹿児島市）
功績内容	<p>1 概要</p> <p>(1) 会員数30人、活動年数17年</p> <p>(2) ストーリーテリングとは、語り手が昔話や創作された物語を全て覚えて自分の言葉で語り聞かせ、聞き手がそれを聞いて想像を膨らませる活動である。直接物語を聞くことで、語り手と聞き手が一体になって楽しむことができる。</p> <p>2 特色ある取組</p> <p>(1) 図書館・公民館や幼稚園・学校、福祉施設等の要請に応じたお話会を年間230回実施している。</p> <p>(2) 自主研修会や学習会、定例会を年間30回実施している。また、県外の研修会にも参加しスキルアップを図っている。</p> <p>(3) 県内だけでなく、県外の読書グループとも交流をし、県外のお話会でも実践を重ねることにより、県内の読書活動がより活性化するよう努めている。</p>